

平成29年度病害虫発生予察指導情報
(ラッキョウ：白色疫病)

平成30年1月26日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

- (1) 1月23日現在、定点調査ほ場における白色疫病の発生ほ場率は100%で、平年(58.0%)に比べて多い。
- (2) 平均発病株率は1.8%で、平年(0.7%)に比べて多い。
- (3) 本病は、降雪後の雪解け水や連続降雨で発病が急速に広がりやすいため、雪解け後の防除を徹底する。

表1 ラッキョウほ場における白色疫病の発病状況(1月23日調査)

地点	調査ほ場数	発生ほ場数	発生ほ場率(%)	発病株率(%)
福部	5	5	100(66.0)	3.0(0.9)
北栄	5	5	100(52.0)	0.7(0.5)
合計	10	10	100(58.0)	1.8(0.7)

※()内の数値はH19年~29年の平年値

2 防除上注意すべき事項

- (1) 現在、積雪のあるほ場では、雪解け後直ちに、フォリオゴールド1,000倍液、ホライズンドライフロアブル1,000倍液、ベトファイター顆粒水和剤2,000倍液等を、展着剤を加用して散布する。
- (2) 薬剤感受性の低下を防ぐため、同一成分の薬剤の連用は避ける。